

## 平成17年度実績に対する評価委員会評価結果

政策名	健康で長生きできる環境づくり
-----	----------------

### 施策の評価

評価項目	施策の方向性		市民ニーズの反映度		適合性		効率性		評価結果 (4項目の 合計点 ×6.25)
	(施策全体として総合計画の基本方針に合致した運営か)		(市民満足度結果等を反映しているか)		(施策を構成する事務事業は妥当か)		(効率的に進められているか)		
①健康づくりの推進	4 方針と合致している	3.6	4 非常に反映している	3.0	4 非常に効果的である	2.8	4 非常に効果的である	3.2	78.8
②保健サービスの充実	4 方針と合致している	3.6	4 非常に反映している	3.6	4 非常に効果的である	3.0	4 非常に効果的である	3.0	82.5
③高齢者福祉の充実	3 概ね合致している	3.8	3 概ね反映している	3.0	3 概ね効果的である	3.0	3 効果的である	2.8	78.8
④障害者福祉の充実	2 あまり合致していない	3.4	2 あまり反映していない	3.0	2 あまり効果的でない	2.8	2 あまり効果的でない	2.8	75.0
⑤保険制度の充実	2 あまり合致していない	3.0	2 あまり反映していない	2.8	2 あまり効果的でない	2.8	2 あまり効果的でない	2.6	70.0
⑥医療体制づくりの推進	1 合致していない	3.2	1 反映していない	2.4	1 効果的でない	2.8	1 効果的でない	3.2	72.5

※評価項目に対する点数は、委員の平均点数により算出

施策名	施策に対する意見等（改善の方向等）
①健康づくりの推進	健康づくりの視点を単なる疾病予防ということだけでなく、生活習慣病予防を主眼とした食生活の見直し等、健康の質や中身に目を向けていく時期にきていると思われる。関連部署が連携して、市民の「自分の健康は自分で守る」という意欲を啓発すべく、特に40～50代男性の健康増進事業への参加を促す方策が求められる。また、グリーンピアを核とした健康づくり事業は市民へ浸透してきており、コストダウンも図られている。今後も里山の管理を含め更に推進していく必要がある。
	個別意見 ①正職員（4.5→5.0）の増員ではなく、専門的な臨時職員などで対応することも検討する必要がある。 ②グリーンピアのプールの1回の利用料に市民料金を設定することなども有効と思われる。
②保健サービスの充実	財政状況との関連があるので、重点策・各年度の計画を明確にして対応しないと結果に結びつかないことから、常に結果と対比していく必要がある。この施策は、生活習慣病対策を強力的に推進していく重要な事業であり、市民の健康維持のため、「基本検診結果」のデータが、市民の食生活改善や日常的・予防的運動習慣の形成につながるようなサービスが望まれる。今後は、自主グループをいかに増やすかもポイントであり、市の施設の優先的な貸し出しなど、更なる支援ができるのか検討が必要である。
	個別意見 ①保健サービスについては、正職員を増員するなど一度大幅に見直し、市民の反応を見ることも必要と思われる。 ②事務事業2つでどのようにカバーしていくのか、型どおりの事業ではなく、工夫・改善をする必要がある。

③ 高齢者福祉の充実	<p>高齢者に対する施策は、重要度の認識は高いのに、満足度は必ずしも高くない。制度の理解が不十分な面があると思われるが、他にどんな点があるのか分析の必要がある。財源が厳しい中であって、幅広い取組みから重点化を図るなど、各年度の計画を明確にした上できめ細かな対応が必要である。とりわけ、行政と地域協働による介護家族への支援体制づくりは急がなければならない。</p>	
	個別意見	<p>①老人福祉センターと憩いの家の利用者数は低いまま推移しているので、縮小、もしくは利用方法の改善について検討が必要である。</p>
④ 障害者福祉の充実	<p>障害者の自立助長と家族のレスパイト促進のための事業が重要であり、障害者の社会復帰や地域での生活に伴う家族等への支援体制づくりの必要性が増している。特に、精神障害者対策は専門的な対策がより重要である。また、障害者自立支援法の施行により、これまで築いてきた障害者福祉の充実が維持できなくなる恐れもあるので、迅速な対応が必要である。</p>	
	個別意見	<p>①在宅サービスに重点がおかれているのは良いと思うが、高齢者介護と同様にハウジング事業のようなものに一定の配慮が必要と思われる。</p>
⑤ 保険制度の充実	<p>法に基づく事業がほとんどであり、制度の充実が重要である。特に、国民健康保険税の収納率低下は悩みである。制度の実態を明確にして将来の姿を踏まえた健全化への具体策と制度の信頼を回復するための施策を急ぐ必要がある。</p>	
	個別意見	<p>①適性化推進対策が見られないことや、相談窓口の分散など、工夫の余地がある。</p>
⑥ 医療体制づくりの推進	<p>現実に存在する医療機関を利用して救急医療体制づくりを進めていることは評価できるが、医師不足の問題は岩沼市単独ではどうにも出来ない状態にあり、隣接市町と連携を図りながら広域的な救急医療体制の整備を急ぐ必要がある。</p>	
	個別意見	<p>①公的病院実現に向けた施策がないように思われるし、進捗状況も不明。他の方法での医療体制づくりも考える必要がある。</p>

## 政策の評価（施策の評価をふまえて）

（１）政策目的を実現するための手段として、施策の構成や内容が有効なものだったか。

<p>政策に対する施策の構成や方向性は概ね妥当と思われる。今後、目標とする市民生活像と市民のニーズや意識との融和を図り、双方向からの政策実現への努力が必要である。市民からの理解を得て、協働して効率を上げるよう施策内容の工夫を期待する。今後の問題としては、市民との協働により「生涯現役」の中身・質をどう向上させていくかということと、制度改革によって市民ニーズとの乖離や福祉の低下が生じないようにしていく必要がある。</p>	
個別意見	①健康づくりは基本的に市民一人ひとりの問題であり、施策の見直しを大胆かつ適切に実行することも必要である。
	②健康づくりの教室（施策1）と健康教室（施策2）の連携もしくは区別を明確にする必要がある。
	③医療体制づくりを推進するための具体的な施策を明確にする必要がある。

（２）各施策にかかる改善の方向は、政策の目的と整合性がとれているか。

<p>改善あるいは見直しすべき事実もあるが、施策の目標のための事業は適切に施行され、整合性が図られていると思われる。健康づくりや生涯現役への意識の高い市民は多いが、年代や性別に偏りがあるように思われる。これまで健康づくりの事業に参加していない市民の参加を促すこと、加えて、健康と要介護の中間の状態にある人が「介護予防」に取り組むよう促すことが一層強化されるべきではないか。また、介護保険、障害者福祉及び医療保険などの制度改革や市の環境の変化に対応した取組みが重要であり、限られた財源を有効活用し、多くのニーズに対応できるような施策を期待したい。</p>	
個別意見	

## 総括評価（政策の推進状況を3段階で判定）

順調

概ね順調

課題あり

<p>健康づくりに向けた各分野の施策への対応は概ね順調と判断するが、救急医療体制の整備については早急な取組みが求められる。また、今後、ますます進む少子高齢化により新たな取組みが求められることから、常に状況変化を先取りした取組みを期待するとともに、核となる重点施策、重点事務事業を明確にしていく必要がある。</p>	
個別意見	①各施策に市民の参画が求められているが、具体的かつ明確にする必要がある。

## 平成17年度実績に対する評価委員会評価結果

政策名	安心して暮らせる環境づくり
-----	---------------

### 施策の評価

評価項目	施策の方向性		市民ニーズの反映度		適合性		効率性		評価結果 (4項目の 合計点 ×6.25)
	(施策全体として総合計画の基本方針に合致した運営か)		(市民満足度結果等を反映しているか)		(施策を構成する事務事業は妥当か)		(効率的に進められているか)		
①防災対策の充実	4 方針と合致している	3.6	4 非常に反映している	2.6	4 非常に効果的である	3.0	4 非常に効果的である	2.6	73.8
②消防・救急体制の整備	4 方針と合致している	3.8	4 非常に反映している	3.2	4 非常に効果的である	3.0	4 非常に効果的である	2.6	78.8
③防犯対策の充実	3 概ね合致している	3.4	3 概ね反映している	2.8	3 概ね効果的である	3.0	3 効果的である	3.0	76.3
④環境・衛生対策の充実	2 あまり合致していない	3.4	2 あまり反映していない	2.8	2 あまり効果的でない	3.2	2 あまり効果的でない	3.4	80.0
⑤上下水道の充実	2 あまり合致していない	3.8	2 あまり反映していない	3.2	2 あまり効果的でない	3.2	2 あまり効果的でない	3.0	82.5
	1 合致していない		1 反映していない		1 効果的でない		1 効果的でない		

※評価項目に対する点数は、委員の平均点数により算出

施策名	施策に対する意見等（改善の方向等）
① 防災対策の充実	<p>防災対策について、行政・市民ともに重要な施策と認識しており、全体としては概ね順調と判断するが、推進に当たっては改善、工夫が必要である。多額の費用がかかるハード面の事業が計画的に進められていることや自主防災組織が着実に増加していることは評価できる。今後は特に中心部での組織化に努める必要がある。防災対策の推進には、市民との連携が不可欠であり、その点からも市で進めている耐震診断あるいは耐震補強工事への関心を高める必要がある。</p>
	個別意見
	<p>①市民の不满3割の内容を検証する必要がある。</p> <p>②PRについては、環境など他との連携も視野に入れた対応が必要である。</p> <p>③市街地を襲う集中豪雨に対処できる側溝整備も急ぐ必要がある。</p>
② 消防・救急体制の整備	<p>複雑多様化している救急や大規模災害に備えて、ハード・ソフト両面の充実が重要であり、更なる推進が必要である。特に、消防団員については高齢化が進み団員確保が難しい状況にあるので、発想の転換を図り企業・行政機関などの自主消防組織の活用を検討する必要がある。また、消防・救急体制は設備、資機材に負うところ大なので速やかに更新を図り、市民ニーズに対応できる体制を整える必要がある。</p>
	個別意見
	<p>①今後は救急出動件数を減少させることを課題としているが、そのために何をするのか、具体的な取り組みを明確にする必要がある。</p>

③ 防犯対策の充実	防犯については、犯罪を予防できる環境の整備と市民との連携が重要であり、町内会等の自主防犯組織や地域安全活動団体などとの連携を密にしながら、きめの細かい対応が必要である。また、大きな犯罪につながる非行少年の低年齢化が問題となっている中で実態をできるだけ詳細に把握し、犯罪抑止効果を高めるための方策について市民と共に検討を行う必要がある。	
	個別意見	①正職員0.6は余りにも少ないのではないかと。兼務ではない専任職員の配置が望まれる。
		②地域安全（防犯）事業については、内容をよくわかるようにする必要があり。
		③自主防犯活動の組織化について、市がリーダーシップを発揮する必要があると思われる。
④ 環境・衛生対策の充実	環境、衛生面について、岩沼市は法の基準を達成しているものの、市民の満足度はそれほど高くない。市民の満足度を高めるために、市民がどのような不満を持っているかを十分把握し、施策の見直し、内容の改善を図る必要がある。また、きめ細かな対応を図るため、引き続き市民の苦情等に対応する窓口業務の充実が望まれる。	
	個別意見	①鼠族害虫駆除事業については惰性で継続している面がないか。駆除の目的と方法が適正か、環境汚染をきたしていないか、再点検の必要がある。
		②環境施策そのものも見直す必要があると思われる。
⑤ 上下水道の充実	上下水道の充実には、費用のかかるハード面が多く市民一人あたりのコストが高いものの、市民生活に必要不可欠な施策であり、現状把握と将来予測を適正に行って計画的に実行することが必要である。特に、老朽化した上水道設備の維持管理と更新については、慎重さと綿密な計画性が望まれる。	
	個別意見	①水道使用料金の達成率は高いがもともと目標値が低い。公平の原則で「納入組合」などを組織し達成率を高める努力も必要である。
		②施設の運転管理の民間委託については、慎重に計画を進める必要がある。

## 政策の評価（施策の評価をふまえて）

（１）政策目的を実現するための手段として、施策の構成や内容が有効なものだったか。

<p>「安心して暮らせる環境づくり」を考える時、ハードに依存すること大な面とソフトに関わる面とがあると思われるが、ソフト面については市民との協働が必要である。この点は、市民・行政ともに弱い部分であるので、市民の中に積極的に出て行って全体の意識を高めながら施策の充実を図る必要がある。</p>	
個別意見	①市民意識の実態把握と改善方向を具体的かつ明確にする必要がある。
	②過去からのつながりもあると思うが、市民との協働を見直す時期に来ていると思われる。

（２）各施策にかかる改善の方向は、政策の目的と整合性がとれているか。

<p>すべてが市民生活を守るために重要な施策であり、各施策の方向性は、政策目的と概ね整合性が図られていると思う。市民のニーズに応えた施策を展開するには多額の費用がかかるものもあるが、優先順位をつけて実現に努める必要がある。特に、防災、消防・救急、防犯については、ソフト、ハード両面での改善、工夫が望まれる。</p>	
個別意見	①岩沼市にとって今後必要な環境施策を再構築する時期に来ていると思われる。

## 総括評価（政策の推進状況を３段階で判定）

順調

概ね順調

課題あり

<p>「安心して暮らせる環境づくり」に向けた各施策の進捗状況は、概ね順調と評価される。市民生活に直結している施策のため実行に諸々の困難が伴うことから、ハード面の整備が表面に出がちであるが、市民の参画と協働、自立意識の向上も重要であり、並行して対策を講じる必要がある。また、市民の満足度を高めるハード面の整備に経費が必要であるが、計画と実績の整合性を常に確認し、満足度と達成率を高めるための工夫と改善を積み重ねながら施策を推進することが望まれる。</p>	
個別意見	